

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度		2024年度	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	子ども教育学科				
科目名称	英語					授業形態	講義・演習			
科目コード	750176	単位数	2単位	配当学年	3	実務経験教員		アクティブラーニング	○	
担当教員名	横堀 仁志								ICT活用	
授業概要	小学校における外国語活動・外国語科の授業を担当するために必要な実践的な英語運用力を身に付ける。特に、主に英語で授業を進めるための教室英語の習得と音声指導に関する基礎的技術を身に付けることを目指す。									
関連する科目	本科目を履修する前に、ベーシックスキル科目である 英語コミュニケーション、英語A、英語B、及び専門教育科目である 教科教育法(英語)を履修しておくことが望ましい。									
授業の進め方と方法	グループでのディスカッションを含む講義形式で基礎知識を身につけると共に、小学校の授業における実践的な英語運用力を身に付けることを重視し、発音練習、模擬授業の実践等を探り入れながら授業を進める。具体的には以下の通り。 ①実際の授業を想定しながら教室英語を習得する。それによって、英語の発音を向上させ、運用力を高める。 ②現役小学校 教員による優れた授業実践をビデオを通じて学び、それを模倣して模擬授業を行うことにより、授業実践に必要な 英語の運用力を向上させる。 ③英語の授業実践に必要な第二言語習得や異文化に関する知識を講義形式で学び、教科書を使用しながらそれらの知識をどのように実際の授業に行かせるかについて考察し、ディスカッションを行う。									
授業計画【第1回】	第1回：イントロダクション 「授業実践に必要な英語力とは？」について考える									
授業計画【第2回】	第2回：リスニング 教科書を用いたリスニング練習とリスニングの練習方法について学ぶ									
授業計画【第3回】	第3回：スピーキング 教科書を用いたスピーキング練習とスピーキングに練習方法について学ぶ									
授業計画【第4回】	第4回：リーディング 教科書や児童文学を用いたリーディング(音読)練習とリーディングの練習方法について学ぶ									
授業計画【第5回】	第5回：ライティング 教科書を用いたライティング練習とライティングの練習方法について学ぶ									
授業計画【第6回】	第6回：英語の音声と発音指導の方法について 英語の発音(英語音声学)と発音指導の方法について学ぶ									
授業計画【第7回】	第7回：第二言語の習得について 第二言語の習得に関する基礎理論や仮説について学ぶ									
授業計画【第8回】	第8回：異文化理解教育について 異文化理解教育の重要性とその具体的方法について学ぶ									
授業計画【第9回】	第9回：模擬授業の準備① 授業ビデオを観て小学校の英語授業の流れと教室英語のイメージをつかむ									
授業計画【第10回】	第10回：模擬授業の準備② チームごとに模擬授業の計画を立てる									

授業計画【第11回】	第11回：模擬授業の実践：第1回 各チームの1人目の教師役担当学生が模擬授業を行う
授業計画【第12回】	第12回：模擬授業の実践：第2回： 各チームの2人目の教師役担当学生が模擬授業を行う
授業計画【第13回】	第13回：模擬授業の実践：第3回 各チームの3人目の教師役担当学生が模擬授業を行う
授業計画【第14回】	第14回：模擬授業の実践：第4回 各チームの4人目の教師役担当学生が模擬授業を行う
授業計画【第15回】	第15回：模擬授業の実践：第5回 各チームの5人目の教師役担当学生が模擬授業を行う
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校における外国語学習の意義と内容について理解している。 ・小学校授業実践に必要なリスニングの力を身に付けている。 ・小学校授業実践に必要なスピーキングの力を身に付けている。 ・小学校授業実践に必要なライティングの力を身に付けている。 ・小学校の授業実践の方法と技術について理解している。 ・第二言語の習得に関する基礎理論と異文化理解教育の実践について理解している。
学位授与の方針(DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	ユニバーサル・パスポートにUPされる次回の授業の資料を事前に読み、疑問点がある場合は自分なりに調べ学習を行う。 模擬授業の準備及び練習を行う。 (毎週1時間程度の学習時間を想定)
授業時間外学習【復習】	授業で学習したことを振り返り、疑問点がないかどうかを確認する。 疑問点等がある場合は、次回の授業で担当教員に質問し、疑問を解決する。 (毎週1時間程度の学習時間を想定)
課題に対するフィードバック	授業中に行う模擬授業のパフォーマンスに対し、授業中にフィードバックする。
評価方法・基準	期末試験 (40%) 模擬授業のパフォーマンス (40%) 課題 (一日ワンセンテンス) (20%)
テキスト	とくに指定しない。毎回プリント資料を配付する。
参考書	「小学校学習指導要領」
備考	